

6 社会資本整備の推進

(4) 道路ネットワークの整備促進等

国への提案事項

主な国直轄事業要望箇所等



一般国道185号休山トンネル
4車線化完成式 (H31.3.10)



<事業名凡例>

赤文字：国直轄事業
緑文字：県事業（地域高規格道路）

凡例		供用済	事業中	未着手
改築事業 （バイパス整備等）	高規格幹線道路	■	■	□
	地域高規格道路	■	■	□
	計画路線	■	■	□
	候補路線	■	■	□
	交流促進型	■	■	□
広域道路	■	■	□	
	地域形成型	■	■	□
	検討区間	■	■	□

- 1 広域ネットワークを形成する
高速道路の機能強化・直轄国道
バイパスの整備促進
- 2 地域活性化を促す道路整備と
戦略的な維持管理・更新のための
財政措置
- 3 都市基盤を強化する街路事業の推進
- 4 平常時・災害時を問わない道路
ネットワークの構築に向けた重要物
流道路の指定・整備促進
- 5 道路予算総額の安定的な確保、
及び補助制度の拡充

2020年代初頭までの整備を要望する

- ◆一般国道2号 東広島・安芸バイパス
- ◆一般国道2号 道照交差点立体交差化
- ◆一般国道2号 木原道路
- ◆東広島・呉自動車道 阿賀ICの立体化
- ◆尾道松江線 (付加車線整備)

【提案先省庁：財務省，国土交通省】

6 社会資本整備の推進

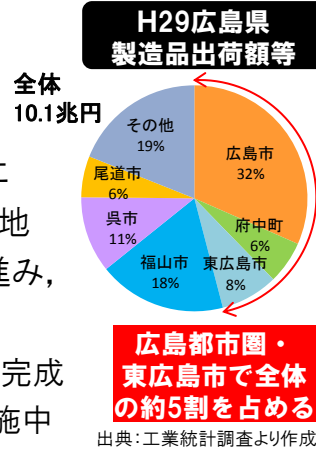
(4) 道路ネットワークの整備促進等



広島都市圏全体での企業等の生産性向上に資する人流・物流ネットワークの構築

現状

- 国道2号(現道)の渋滞による物流の信頼性低下
- 広島都市圏や東広島市を中心に多くの自動車産業のサプライヤーが立地
- 東広島市では産業団地造成が進み、令和2年度迄に順次操業開始
- 広島港五日市地区では令和4年度完成を目指し、産業用地とする工事を実施中



課題

国道2号の慢性的な渋滞を解消し、企業等の生産性向上に資する人流・物流ネットワークの構築が必要



一般国道2号上瀬野付近(広島市)

提案

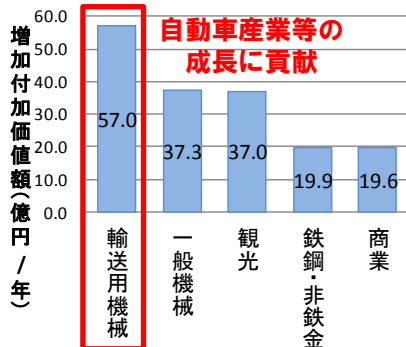
- 新たな設備投資や、企業立地につながる
- 一般国道2号
- ・ 東広島・安芸BPの早期整備
- ・ 道照交差点立体交差化の早期整備
- ・ 広島南道路(明神高架)の整備促進
- 広島南道路(商工センター以西)の早期事業化
- (仮称)八本松SICの早期事業化
- 地方の意見を反映した重要物流道路の指定・整備促進

[広島県試算]

東広島廿日市道路整備による地域経済への効果予測

広島県内の経済効果は約335億円/年

付加価値額の増加が大きい産業



自動車産業のサプライチェーン強化の事例



6 社会資本整備の推進

(4) 道路ネットワークの整備促進等



広島都市圏から空港への高いアクセシビリティの実現

現状

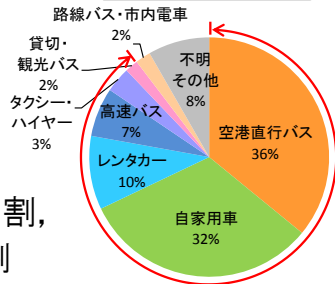
○令和3年の広島空港の経営改革の導入に向け、道路系アクセス強化の取組実施

○空港へは道路利用が約9割、広島市域からの利用者が約5割

○事故や大雨等による高速道路の交通渋滞や通行止めの影響を受ける空港アクセス

○代替路である現道(国道2号)の慢性的な渋滞

空港アクセスの手段別割合



道路利用が約9割

出典：国土交通省 H29航空旅客動態調査

平成30年7月豪雨による空港アクセスの影響



課題

平常時・災害時を問わない広島空港への高いアクセシビリティ(速達性, 定時性, 代替性, 多重性)の実現が必要

広島空港へのアクセスルート



ルート	路線	整備後	現状
①高速ルート	広島高速5号線+山陽道	40分	45分
②一般ルート	国道2号東広島・安芸BP+山陽道	65分	105分
③白市ルート	JR山陽線+空港連絡バス	64分	64分
迂回ルート	(主)矢野安浦線+東広島呉道	-	-

※H22センサスの平日混雑時速度により算出。一般ルートの現状の所要時間は国道2号の現道を利用した場合(H17センサスで算出)。迂回ルートは平成29年1月に中国運輸局で路線認可。山陽自動車道で事故や渋滞が発生した場合の利用が可能

提案

令和3年の空港経営改革の導入に向けた

- 一般国道2号東広島・安芸BP, 道照交差点立体交差化の整備促進
- 主要地方道矢野安浦線等の整備推進のための財政措置
- 更なる道路系アクセスの信頼性向上のため
- 山陽自動車道の機能強化(車線数の増加)
- 広島呉道路(4車線化)の整備促進
- 東広島・呉自動車道 阿賀ICの立体化の早期整備
- 広島呉道路と東広島・呉自動車道の接続区間の早期事業化

6 社会資本整備の推進

(4) 道路ネットワークの整備促進等



生産性向上に資する道路ネットワーク構築による産業競争力強化

現状

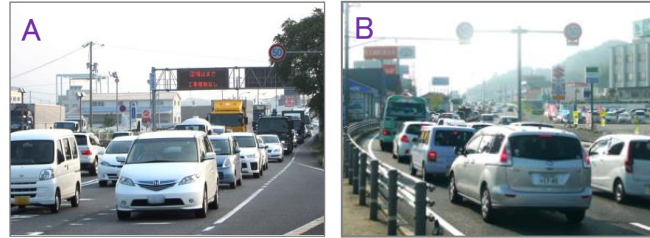
- 福山都市圏は瀬戸内海地域の中核的な工業拠点
- 重要港湾福山港の機能強化(ふ頭再編改良事業着手)
- 福山市中心部に主要渋滞箇所が集中
- 福山市西部, 及び北部の産業団地と産業集積地, 福山港とのアクセスが脆弱

一般国道2号渋滞ランキング(H30)

福山市中心部の2区間が上位に

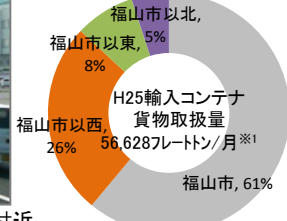
順位	渋滞損失時間*	市区町村	区間名
1	119	広島市	東雲インター入口交差点～出汐町交差点
2	95	福山市	紅葉町交差点～小田川橋交差点
3	90	倉敷市	大西交差点付近～中新田交差点
4	72	福山市	明神町交差点～府中分かれ交差点

出典: 渋滞ワーストランキングのとりまとめ(平成30年)(国土交通省)より作成
 ※渋滞損失時間: 混雑により余計にかかる時間(単位: 万人・時間/年)



一般国道2号赤坂BP東口交差点付近 一般国道2号神島橋西詰交差点付近

福山港コンテナ貨物方面別輸送状況



出典: H25年全国輸出入コンテナ貨物流動調査より作成

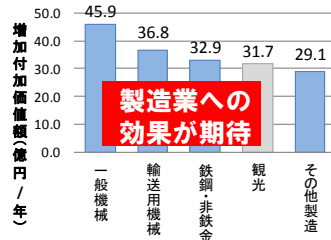
課題

福山市中心部の渋滞を緩和し、企業等の生産性向上に資する道路ネットワークの構築が必要

広島県内の経済効果は約387億円/年

【広島県 試算】

倉敷福山道路(全線供用)整備による地域経済への効果予測



提案

- 一般国道2号福山道路の整備促進
- 地域高規格道路福山西環状線, 主要地方道福山沼隈線の整備推進に向けた財政措置
- 地方の意見を反映した重要物流道路の指定・整備促進

福山都市圏の渋滞対策



※1フレートトン: 港湾取扱量の単位であり, 容積1.113立方メートル又は重量1,000kgを1フレートトンとし, 容積, 重量のどちらか大きい方をもって計算する。 ※2 国土交通省: H29港湾統計

6 社会資本整備の推進

(4) 道路ネットワークの整備促進等

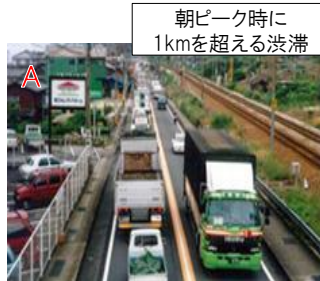


一般国道2号ミッシングリンク解消による連携中枢都市圏構想の実現

現状

- 備後圏域連携中枢都市圏※において、圏域の各市町が連携し、圏域の活性化の取組を実施
- 三原市と福山市を結ぶ国道2号バイパスにミッシングリンク(木原道路, 福山道路等)が存在し、渋滞の発生により企業活動や救急医療活動等に支障
- 三原市の本郷産業団地(1期～3期)は令和3年の完成を目指し造成中。1期, 2期の一部で企業立地協定締結

※構成自治体: 福山市(連携中枢都市), 三原市, 尾道市, 府中市, 世羅町, 神石高原町, 笠岡市, 井原市



朝ピーク時に1kmを超える渋滞
国道2号の渋滞状況(木原小下バス停付近)



18号台風(H16.9.7)で約1時間半の通行止
国道2号の波浪・越波状況

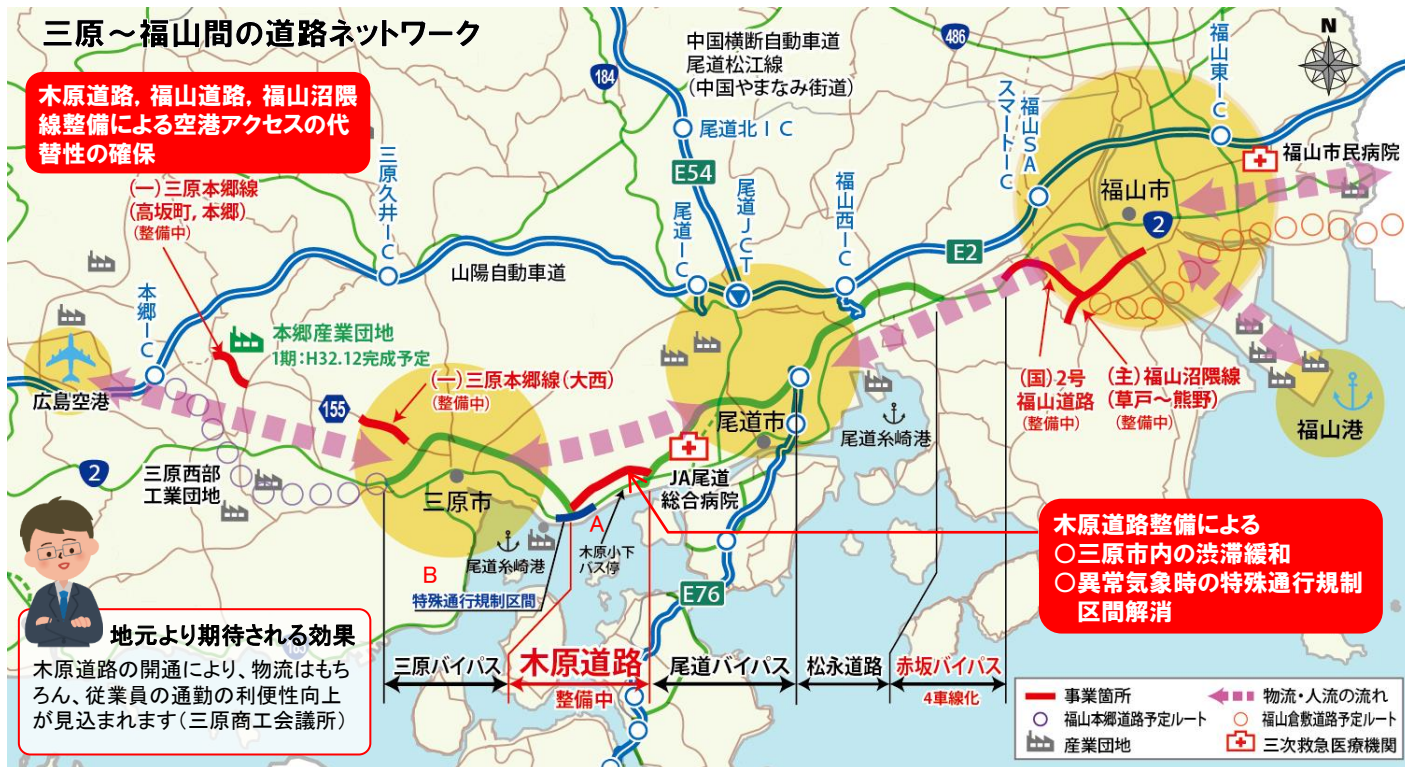


(一)三原本郷線
1期: 2020年12月
2期: 2021年6月
3期: 2021年12月
完成予定

本郷産業団地完成イメージ図

三原～福山間の道路ネットワーク

木原道路, 福山道路, 福山沼隈線整備による空港アクセスの代替性の確保



地元より期待される効果
木原道路の開通により、物流はもちろん、従業員の通勤の利便性向上が見込まれます(三原商工会議所)

木原道路整備による
○三原市内の渋滞緩和
○異常気象時の特殊通行規制区間解消

課題

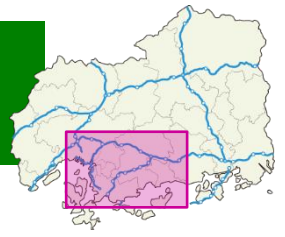
ミッシングリンクの解消により、圏域内の産業の活性化や、観光・医療分野での連携強化に資する道路ネットワークの構築が必要

提案

- 一般国道2号 木原道路の早期整備
- 一般国道2号 福山道路の整備促進(再掲)
- 地方の意見を反映した重要物流道路の指定・整備促進

6 社会資本整備の推進

(4) 道路ネットワークの整備促進等



県土強靱化に向けた災害に強い道路ネットワークの構築

現状

- 平成30年7月豪雨では、山陽自動車道や国道2号など幹線道路の多くが被災し、特に広島-呉間では、広島呉道路の被災により、国道31号の渋滞が長期間継続し、支援物資の輸送や企業の経済活動、通勤、通学など県民の日常生活に大きな影響
- 緊急輸送道路において地震により落橋・倒壊が発生しないレベルの耐震化が必要な橋梁194橋、H25.27道路法面点検結果における要対策箇所550箇所

課題

県土強靱化に向けた災害に強い道路ネットワークの構築が必要

提案

- 広島呉道路(4車線化)の整備促進(再掲)
- 山陽自動車道の機能強化(車線数の増加)(再掲)
- 一般国道2号東広島・安芸BP等の整備促進(再掲)
- 広島呉道路と東広島呉自動車道の接続区間の早期事業化(再掲)
- 主要地方道呉平谷線等の整備推進に向けた財政措置
- 「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」に基づき、インフラの強靱化の着実な実施と推進のための財政措置
- 地方の意見を反映した重要物流道路の指定・整備促進



道路の防災・減災対策



法面災害防除工事例 (落石防止)



橋梁耐震工事例 (落橋防止)

大手物流事業者の声

災害時のリダンダンシー確保

平成30年7月豪雨では国道2号の中野東が通行止めになるとは思わなかった。山陽道が通れなくても、安芸バイパスがあれば利用した。災害時など、道路の選択肢が複数あるのがよい

観光産業に打撃

前年度比 $\Delta 78\%$



上:山陽自動車道, 下:国道2号

広島呉道路, 一般国道31号(坂町)

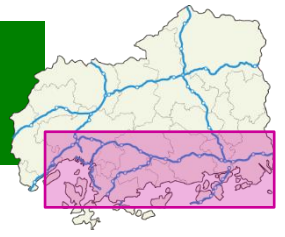
道路網の寸断により企業活動や県民生活に著しい影響



上:国道31号, 下:呉市のスーパー

6 社会資本整備の推進

(4) 道路ネットワークの整備促進等



観光周遊を促す道路ネットワークの形成による観光立県の実現

現状

- ひろしまブランド、瀬戸内ブランドの確立により世界に誇れる観光地を目指し、取り組みを実施
- 2つの世界遺産や瀬戸内海、中国山地、サイクリング等の多彩な観光資源が集積
- 総観光客数は平成24年以降、5年連続で過去最高値を更新
- 観光客は原爆ドームと宮島に集中
- 井桁状高速道路ネットワークにより観光地へのアクセス性は高いものの、都市内渋滞等が観光周遊の大きな妨げに

課題

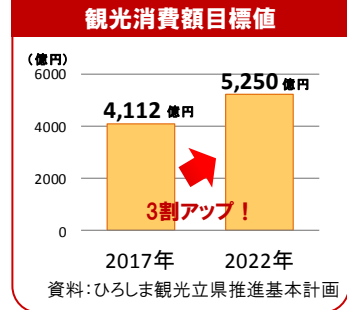
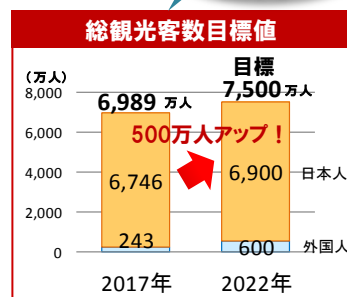
ICアクセス、観光地間アクセス、都市内道路の整備により、広域観光周遊を促す道路ネットワークの形成が必要

提案

- 一般国道2号東広島・安芸BP等の早期整備
- 広島呉道路(4車線化)の整備促進
- 東広島・呉自動車道 阿賀IC立体化の早期整備
- 一般国道432号、主要地方道鞆松永線等の整備推進に向けた財政措置



世界に誇る観光地へ



6 社会資本整備の推進

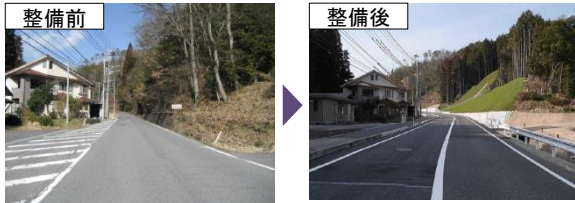
(4) 道路ネットワークの整備促進等



安心・安全を確保し、豊かな暮らしを支える道路整備の推進

現状及び課題

A. 都市的機能の享受を可能とする地域と拠点間の円滑な移動



道路改良

B. 買い物、通院等、地域住民の日常生活を支える道路整備

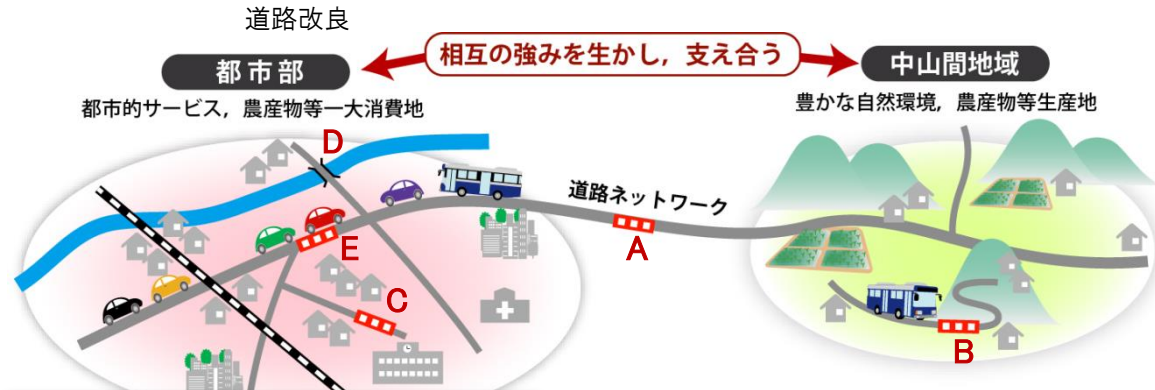


待避所の設置

C. 総合的な交通安全対策の推進



通学路交通安全プログラムに基づく交通安全対策の実施(歩道整備)



D. 道路施設の適正な維持管理



橋梁の点検状況

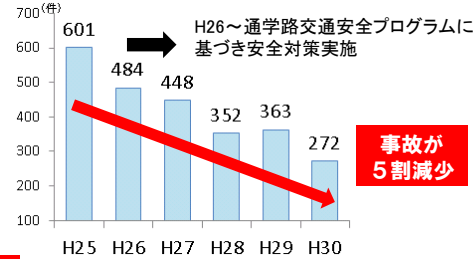
トンネル補修後(剥落防止対策工)

E. 都市基盤を強化し、持続可能なまちづくりに資する道路・街路整備



交通渋滞の緩和

広島県内の子どもの交通事故発生件数の推移



出典：広島県警察HPより作成

提案

- 地域活性化を促す道路整備と戦略的な維持管理・更新のための財政措置
- 安全で快適な歩行者等の空間整備推進のための財政措置
- 都市基盤を強化する街路事業の推進